

十勝とマレーシアのビジネス強化を目指して ～「動物を原料とした食品の品質管理強化を通じた地域産業開発」研修～

日頃より、弊機構の広報にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当センターは、昨秋より感染症対策を十分に講じた上で、段階的に来日研修を再開しております。

帯広市では、農業を基盤とした新たな産業を創出し、十勝から世界に向けて価値を発信している「フードバレーとかち」政策の一環として、当センターを通じてマレーシアとの協力を進めているところです。

1月26日より、帯広市のほか、各企業・団体のご協力により、マレーシアのハラール¹事業関係者を対象とした「動物を原料とした食品の品質管理強化を通じた地域産業開発」研修を実施します。研修では、食品の品質・衛生管理について学ぶほか、十勝管内企業との関係強化を通じた地域産業振興に資する内容となっています。

つきましては、十勝とマレーシアのビジネス強化に向けた協力・連携可能性につき取材していただきたく、何卒ご検討の程宜しく申し上げます。

記

研修名：動物を原料とした食品の品質管理強化を通じた地域産業開発

研修員構成：マレーシア（10名）

研修期間：2023年1月26日（木）～2月7日（火）

研修言語：英語（英語通訳付き）

取材日時・内容：※研修期間中の以下プログラムについて取材をご検討ください。

① 【講義】乳業メーカーの衛生・品質管理とハラール認証取得について

日時：1/30（月）14:00～17:00

場所：よつ葉乳業株式会社（十勝主管工場）

内容：マレーシア政府機関のハラール開発公社（HDC）から「HDC アワード」表彰²を受けた「よつ葉乳業」が実施している品質・衛生管理について学ぶ。

② 【意見交換】帯広商工会議所との意見交換会

日時：1/31（火）14:00～17:00

場所：帯広商工会議所（帯広市）

内容：副会頭はじめ、商工会議所議員とハラールビジネス等についての意見交換。

¹ハラールとは、イスラム教の教えにおいて「許されている」という意味のアラビア語。食べ物では、魚介類や野菜・果物、イスラム法に則って処理された牛肉、鶏肉など。ハラール認証機関が認めた「ハラール食品」は、イスラム教徒が安心・安全に摂取できる食品として流通可能。

² <https://www.jica.go.jp/obihiro/topics/2020/20201109.html>

③ 【講義・交流】ハラルセミナー・十勝企業との交流会

日時：2/3（金）13:30～17:30

場所：とかちプラザ（帯広市）

内容：HDC からハラルビジネス事例等の紹介及び十勝管内企業との商取引情報交換を目的とした交流会。（別添資料参照）

※取材可能な場合は、取材日前営業日（平日）正午までに下記までご連絡ください。

※講義中の撮影可能です。但し、取材対応は講義の前後で行います。

以上

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 北海道センター（帯広）道東業務課 広報窓口：松本 本件担当：上米良（かんめら） TEL：0155-35-1210 E-mail： obihiro_event@jica.go.jp